

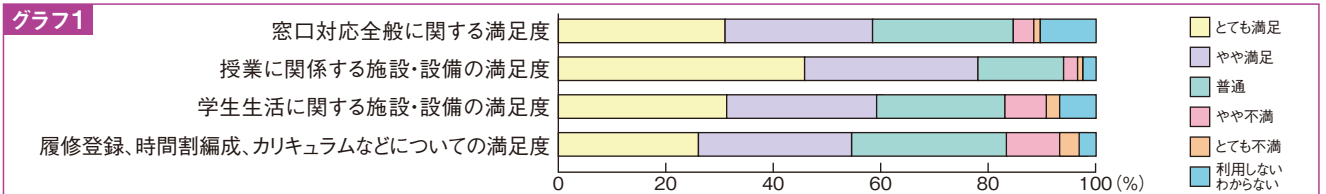
2018年度

「学生による教育環境改善のためのアンケート」実施報告

実施日程・調査方法 2018年度「学生による教育環境改善のためのアンケート」は、秋学期授業最終日(12月24日、1月12日、15日～18日)に実施しました。このアンケートは「学生による授業評価アンケート」とともに指定クラスを履修する学生には教員から直接配付し、指定クラスを履修していない学生や欠席者などに対しては自宅宛に送付しました。回収については、従来通り指定クラスの学生代表者がアンケートを収集し、一括して窓口へ提出する方法がとられ、その他は学内投函箱へ提出、または郵送により提出する方法がとられました。大学院生についても同様に配付・回収を行いました。聴講生、特別聴講生、科目履修生についても同様に実施しました。

このアンケートは学部生、大学院生、聴講生などのみなさんから、意見を広く集めることを目的としており、4つの設問に対し、満足度5段階「①とても満足、②やや満足、③普通、④やや不満、⑤とても不満」と「⑥利用しない、わからない」であらわし、設問ごとに自由記述欄を併設し実施しました。

集計について アンケートの回収は、学部生、大学院生、聴講生などのみなさんを合わせて8,598名の対象者の内、2,292名のデータを回収することができました(回収率:約26.7%)。そのうち学部生、大学院生については、それぞれ所属別・学年別に満足度の集計を行いました。満足度の結果は **グラフ1** の通りですが、詳細については、ホームページの「獨協大学の自己点検・評価活動」のページをご覧ください。自由記述については、個人を特定できないように資料を作成し、その内容については「授業評価アンケート」同様、個別の公表は行いませんが「フィードバックコメント」として大学からの回答をホームページに掲載します。



今後について 今後は「事務局自己点検・評価委員会」を中心に、アンケート結果に基づく課題点を抽出し、その検討及び改善に取り組みます。なお、活動状況・改善報告等については、アンケート結果に対してのフィードバックコメントとして回答するとともに、適宜、大学ニュースやホームページにて報告します。

概要

1. 2018年度の教育環境改善報告

本学は、2014年10月に創立50周年を迎え、これからの50年(NEXT50)に向けて改革を進めております。2018年度は、「少人数教育と国際化・グローバル化教育の推進」、「創立50周年記念館(西棟)の竣工と今後のランドスケープ計画等」、「現行諸制度と組織の検証とさらなる改革強化策の構築」という運営方針のもと、改革を進めてきました。

方針の1つである創立50周年記念館(西棟)は2017年に完成し、また校地西側のランドスケープも整備しました。今後は、キャンパス再編によって整備した施設設備を最大限に活用し、アクティブ・ラーニングや、それを支えるラーニング・commonsの導入、ICTの活用などによってソフト面で教育効果を上げる施策を講じる必要があります。また、2017年4月より最寄駅の名称が「獨協大学前(草加松原)」に改称されました。地域と大学双方のイメージアップとなるよう、今後とも大学として地域社会の持続的発展に貢献していきます。

事務局では、本学全体の重要課題に取り組みつつ、従来から、窓口対応、授業関連施設、学生生活施設の改善をはじめとする、諸施策を推進してきました。本アンケートにより、教育環境改善への成果を着実にあげてきましたが、社会の変化と学生のみなさんのニーズの変化にともない、対応していく必要があります。

■ 窓口対応

- 学生のみなさんからの指摘やご意見について各部課室で話し合いをおこない、速やかな改善に取り組みました。
- 「挨拶」、「丁寧」、「正確」のスローガンと教育的配慮に基づいて、学生のみなさんと良好な関係づくりや、積極的な情報発信などに取り組みました。

■ 教育研究施設

- 東棟の各教室に無線AP(アクセスポイント)を新規設置し、ネットワーク環境の安定稼働に努めました。
- 学生の自律学習を促す施設「CLEAS(クレアス)」を中央棟1階に設置し、学生のみなさんがより学習に取り組める環境を整備しました。

■ 学生生活施設

- 要望が最も多い学生食堂を中心とした「食」の環境改善については、6月から西棟の前にケータリングサービスである「キッチンカー」(移動販売車)を導入して、食の分散化とメニューの多様化を試みました。
- 学生食堂については、食提供時の混雑緩和を解消するための改装工事と、レイアウトやテーブル、イスの変更によりスペースを多目的に利用するための改善をおこないました。

2. 2018年実施のアンケートに対するフィードバックコメント

■ 窓口対応について

- 「親切だった」、「説明がわかりやすかった」などの意見をいただいておりますが、「対応が機械的」や「高圧的だった」など表情や態度についてのコメントも多くありました。この点については今後は、「事務局自己点検・評価委員会」を通じて、窓口スローガンである「挨拶」、「丁寧」、「正確」の意識のさらなる徹底ならびに行動基準の見直しを図ります。

■ 教育研究施設・学生生活施設について

- 無線LAN設備全体の利用が増加しておりますので、継続して設備の拡充や最適化調整をおこない安定稼働に努めていきます。2018年度は東棟各教室に無線APを新設いたしました。

- アリーナ及び人工芝グラウンドの個人利用について、授業と学生会活動での利用が優先されることから、授業と学生会活動に影響の出ない時間に限り、スポーツ・レクリエーション教員準備室で貸出手続きを受け付けておりますので、ご利用ください。
- 人工芝の競技用ラインについては、人工芝グラウンドの芝を全面的に張り替える時期を待って、ラクロス以外も含めた利用競技全ての最新ルールに準拠できるよう、ラインの位置を更新する予定です。それまでは個別の対応が出来ない旨、ご理解ください。
- 図書館にある予約制の共同学習室は授業期間中、満室の状況が続いていることを確認しています。また、食事スペースや会話可能なスペースの拡大を望む声もいただいております。これらの実現には、大規模な改修が必要となるため現時点で変更の予定はありません。今後は、現在のゾーニングを検討していきます。
- 西棟3階のラーニング・スクエア1・2について、貸出PCやプリンター機器を配置する場合、現状では人員の配置も必要となるため、すぐに対応することが難しいのですが、より利用しやすい施設となるよう引き続き検討いたします。
- 教室内の機器利用について、日本人以外の教員向けに講師室での掲示や、より一層の声掛け、教室内の掲示等の見直し等を検討して、授業時間が無駄にならないよう工夫いたします。なお、新しいAV機器へ更新した教室では、AV操作卓の操作パネルを英語併記の二ヶ国語対応としています。
- 学生食堂をはじめとする学内の飲食店舗について、食環境全体に関する非常に多くのコメントが寄せられています。特に昼休み時間帯の学生食堂やコンビニエンスストアについて、「混雑している」、「キャンパス西側にも店舗を設置してほしい」とのコメントが寄せられており、これまでも「スタイルカフェ・スタンド」のオープンや、2018年6月には創立50周年記念館(西棟)前にキッチンカー(移動販売車)を配置するなど、飲食提供場所の分散化を進めてきました。
- 2019年3月には学生食堂の一部改修をおこなうとともに、テーブル、イスを入れ替えて、要望の多かった1人席やソファ席などを配置したりリニューアルをおこない、混雑緩和と利用しやすさを目指しました。メニューについても、継続して改善を進めて参ります。
- 学生センターのトレーニングルームについて、「広くして欲しい」というコメント、また女性利用に関するコメントをいただきました。センター内の他の施設との兼ね合いもあり、拡張は難しい点をご理解ください。また、利用者がほとんどいない時間帯もあります。授業の合間の空き時間などに利用状況を確認してみてください。
- 学内の喫煙については、当面「完全分煙」の方針のもとに喫煙習慣を身に付けないようにする取組を継続して推進していきます。2018年度の喫煙者数の日ごと平均は、前年に比べて大幅に減少しています。

■ その他

- 100分授業への変更について、様々なご意見をいただきました。授業時間変更については、大学設置基準に定められた単位取得に係る授業時間数の確保(100分×14週)のため、2019年度から実施するものです。100分授業導入による、新たな学びの形が展開していくよう教育の質保証に努めていきます。
- 授業評価アンケート、教育環境改善アンケートについて、2019年秋学期からインターネットを利用してアンケートができるように準備を進めています。

この記事の詳細はHP「獨協大学の自己点検・評価活動」のページをご覧ください。 http://www.dokkyo.ac.jp/jikotenken/a04_01_j.html

※大学ニュース4月号にてお知らせしました「学生による授業評価アンケート」結果(数値データのみ)と結果に対するフィードバックコメントは、現在、教務課、図書館、学生会の各窓口にて閲覧することができます。閲覧希望の際は、お近くの職員までお知らせ下さい。